

## ■ケニア：世界最大規模の地熱発電プロジェクト

ケニア政府は2011年11月上旬、ケニアのナイロビの北西約100 kmに位置するオルカリアに、世界最大級となる地熱発電所（出力28万kW）の建設計画を明らかにした。事業費は14億ドルの予定。この発電所は単機容量14万kWの発電機2台で構成され、2014年2月の運開が予定されている。このプロジェクトにより、同国の地熱発電の総出力容量（既存20万kW）が倍以上となり、供給力が30%増強されることになる。同国ではここ最近の干ばつで水力発電出力の62%が失われ、電気料金の高騰を招いている。この地熱発電所が完成すると、干ばつに影響される水力発電への依存度が低くなって、電気料金が引き下げられるようになると期待されている。このプロジェクトには日本や韓国の企業も参画しており、トヨタ通商がプロジェクト全体を監理し、現代建設が機器を含む発電所の建設工事を手がけることになっている。同国では今後年率8%の経済成長率が想定されており、2018年の需要は1,500万kW（現在の発電設備容量160万kW）になると見込まれ、このうち470万kWが地熱発電で賄われるとされている。